

施工説明書

品番 WZ 7522

■施工前に必ずこの説明書をお読みください。

配線器具にも寿命があります。

取付場所や使用状況によって異なりますが、10年※を超えたものは、特に点検が重要です。 ※：製品の保証期間ではありません。

安全上のご注意



警告

本製品は、お子様の手の届かない場所に施工してください。
小さな部品がありますので、お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

施工上のご注意

- プラグ先端のコンタクト部は触らないでください。
汚れによる導通不良の原因となります。
- ケーブルに張力が掛からないように配線してください。断線の原因となります。
- 再結線は4回以内にしてください。
- 配線は電力配線と15 cm以上の離隔距離を設けることをお勧めします。
電力配線からのノイズにより、まれに伝送不良が発生することがあります。



各部のなまえ



プラグ本体

カバー

キャップ

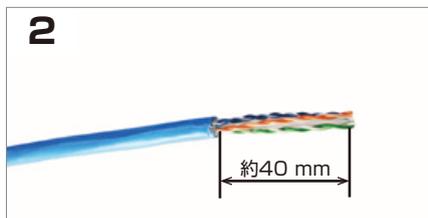
適用ケーブル

- ・CAT6A 対応UTPケーブル：単線 AWG 26 ~ AWG 22
より線 AWG 26 ~ AWG 22
 - ・心線絶縁体外径：最大φ 1.6 mm
 - ・ケーブル外径：φ 4.5 mm ~ φ 8.0 mm
- <推奨ケーブル> 日本製線(株)製CAT6A対応UTPケーブル

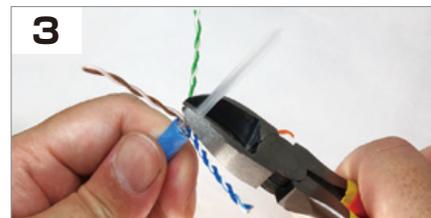
結線方法



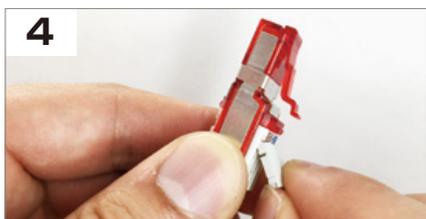
1
キャップとカバーの向きを合わせてケーブルに通す
注) 結線後に通すことはできません。



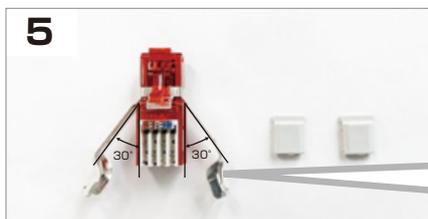
2
ケーブル外被を約40 mm剥く
注) 心線を傷つけないように外被を剥いてください。



3
十字介在を確実に外被の根元で切る

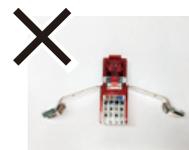


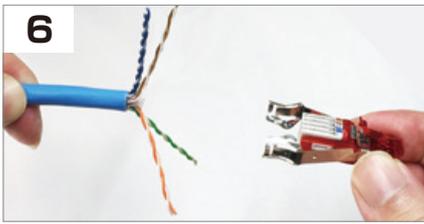
4
プラグ本体にある2つのIDCカバーを取り外す



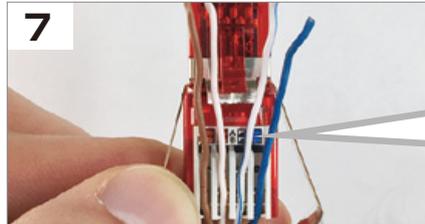
5
プラグ本体の金属部を少し広げる(目安30°)

注) 広げ過ぎない
破損し、再使用できなくなる可能性があります。

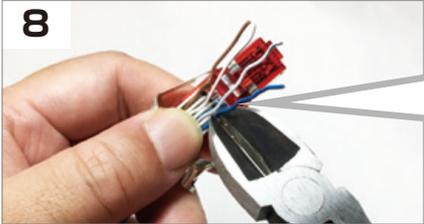
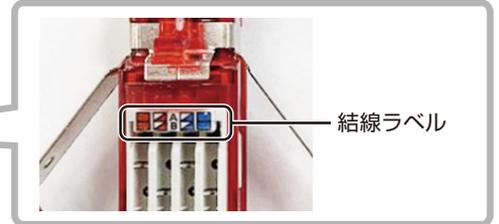




プラグ本体に表示されている結線ラベルに合わせて各対を分ける



各対のよりを戻して真っすぐにし、結線ラベルに従って各心線を溝に入れる

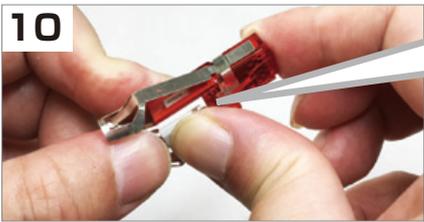


余分な心線をニッパーなどで切断する

注) 心線切断位置は、拡大写真の緑線の位置にしてください。



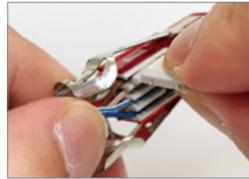
IDCカバーをプラグ本体に取り付ける



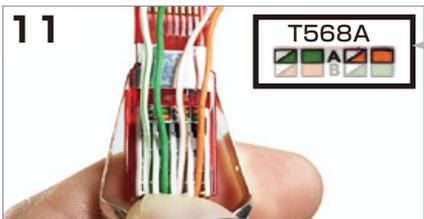
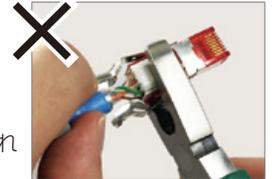
IDCカバーを押し込み、心線を圧接する

注) IDCカバーが押し込めない場合、溝に心線が入っていません。

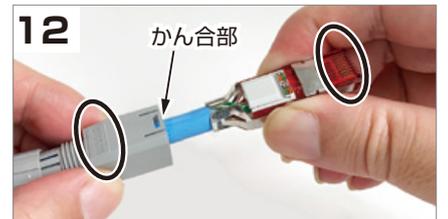
IDCカバーが押し込めない場合
IDCカバーを利用して心線を1本ずつ溝に確実に入れる。



注) プライヤーなどの工具は使用しない
コネクタを変形させる恐れがあります。



各対のよりを戻して真っすぐにし、結線ラベルに従って各心線を溝に入れる
その後、手順8～10と同様に心線を切断し、IDCカバーで圧接する



カバーの刻印がコンタクト側になるように向きを合わせて挿入し、かん合(2か所)を指で押さえてはめる



キャップを指で回して、ケーブルを固定する

ケーブルの外径に合わせて固定される位置まで回してください
ケーブルの外径により位置は異なります。

